

あかしまん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

常滑・青海 瑞雲殿
誠意と真心であんしんのかげはし
CSK葬祭
TEL 0120-33-5909
TEL 0569-35-2785
FAX 0569-35-2296
24時間
体制完備

葬儀専用ホール

世界一の道化
岩田さんは、1970年、神奈川県横浜
浜市生まれ。父・高一さん(78)は、か

「バレエが好きで好きでしかたない」
心で、ボリシヨイの厳しい練習に耐えて
きた。
一昨年11月、ロシア政府から「日露の
文化交流に多大な貢献をした」として、「友
好勲章」を授与された。式典では、メドベ
ージェフ大統領から直接、勲章を授与され
た。岩田さんの活躍を、バレエ大団ロシ
アが認めたことになる。
伝説的スターでボリシヨイの芸術監督
も努めたワシリーエフさんは、岩田さん
をこう評価している。「モリのような素晴
らしいダンサーが踊っていることは、ボ
リシヨイ劇場にとって大きな幸福だ。ボ
リシヨイ劇場で、モリが活躍しているこ
とは、日本が誇るべきことだ」



Nobuo Murakami
村上信夫
(アナウンサー)

元気でいてくれることばたち

157

つて東京バレエ団で活躍
していた。
バレエを始めたのは9
歳から。父のバレエ・ス
クールで習い始めた。し
だいに頭角を表し、17歳
で、全日本バレエ・コン
クールジュニア部門1

ころだ。ロシア人でもボリシヨイに入る
ためには、子どもの頃から、バレエ学校
に通い、選りすぐられた人だけが入団を
許される。国はよいダンサーを育てるた
めに、生活費や教育費を出している。
バレエは国の威信をかけた芸術なのだ。
200年あまりの歴史があり、歴代の芸
術監督や様々なダンサー、そして客の思

を下さい」と直訴したら、「猿」の役なら
あるといわれた。妻にはやめたほうがい
いと言われたが、動物園に行つて、猿を
観察して臨んだ。「生き生きとした猿」と
評判になった。
その役がきっかけで認められ、役が
くようになった。父にも「世界一の道化
になれ」と励まされた。

村上信夫プロフィール
NHKエグゼクティブアナウンサー
1953年、京都生まれ。
明治学院大学卒業後、
1977年、NHK入局。
富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。
現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ
第一-8:30~11:50)
これまで、『おはよう日本』『ニュース7』
『育児カレンダー』などを担当。
教育や育児に関する問題に関心を持ち
続け、横浜市で父親たちの社会活動グ
ループ『おやじの腕まくり』を結成。
趣味は、将棋。
著書に『元気でいてくれることばたち!』(近
代文芸社)
『おやじの腕まくり』(JULA出版局)『いの
ちの対話(共著)』(集英社)『いのちと
ユーモア(共著)』(集英社)

弱みは最大の強みになる

バレエダンサー 岩田守弘さん

位となり、90年、19歳で、旧ソビエトの
モスクワへ旅立った。
91年、ロシア・バレエ団に入団。93年、
モスクワ国際バレエ・コンクールで金賞
を受賞し、ロシアでやっていく自信が出
来て、バレエ団で出会ったオリガさんと
結婚した。マリヤさん(16歳)とありさ
さん(13歳)という2人の娘も授かった。

い(エネルギー)が、劇場に蓄積されて
いる。その様な伝統と格式のある所ゆえ
に、そう簡単に招き入れてくれるわけが
ない。下積み生活が長かった。なかなか
役がもらえない。踊りたくても踊れない
状況が続いた。ひたすら練習を繰り返し
た。「いいときは成長しない。悪いときに
成長する」そう確信しながら…。
ようやくボリシヨイデビューの日が
やってきた。余りにも役がこないのに、役

ロシア・バレエ団は、海外公演が多く、
過密スケジュールの旅ばかりで、なか
か家族と一緒にいられない。出来るだけ
モスクワにいたいと思ひ、ボリシヨイ・
バレエ団への入団を希望した。
しかし、すんなりとはいかなかった。
当時、ボリシヨイは外国人を採用しなかつ
たので、当初は、研修生という資格で入つ
た。正式入団してからも、ボリシヨイで
認められるまでが長く辛かった。ボリシヨ
イ・バレエ団というのは、格式の高いと

『ロミオとジュリエット』は、クラシッ
クバレエの名作中の名作だ。ドラマティッ
ク・バレエ(ロシア・バレエ)の最高峰
ともいわれる。
バレエは、フランス、イギリス、アメ
リカ、そしてロシア…それぞれ表現の
仕方が異なる。ロシア・バレエの特徴は、
踊りは古典的な型があるが、演目にスト
リー性があり、ダンサーに高い表現力が



俳画/イネ・セイミ

求められる。ドラマティック・バレエと
いわれるゆえんだ。
演者は、型通りに踊るだけでなく、本
気で演技も出来なければならぬ。岩
田さんが演じるマキューシオという役
は、ジュリエットの兄に殺される。死を
きっかけに、ロミオの一族とジュリエッ
トの一族の対立が激化する。だから、死
は、重要な場面だ。観客の気持ちを引き
付ける死ぬ時の踊りが見せ場だ。岩田さ
んは「跳躍や回転」だけでなく、目の演
技で、死を表す。目の光が、徐々に失せ
ていくというリアルな死を演じる。客席
から見ている、わかるかわからないか微
妙なところにも腐心する。そこに岩田さ
んの真骨頂がある。

おとなのフルート教室
大人でも上達する！
何が始まるかと
思っている貴女、
数年後、素敵に
フルートを奏でる姿が
そこにあります。
楽しく個人レッスン
致します。

講師 **イネ・セイミ**
(フルート奏者 指導歴30年)
1レッスン1時間5,000円(テキスト代別)
申し込み 0569-89-7127
お問合せ seimine@oasis.ocn.ne.jp

イネ・セイミプロフィール
フルート奏者として活躍中。俳画家。
絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師
事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師
事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさ
しいタッチで描いている。個展多数

俳画教室開講中
常滑屋
とき 月二回 第二・第四金曜日
午後一時〜三時
会費 一回 二,二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三三)〇四七〇

ラジオが好き!
村上信夫
好評発売中

40を過ぎ、体力気力の限界と闘ってき
た。50歳までは現役で踊りたいと思つて
いたが、第一線を退くことを決めた。自
分を育ててくれたボリシヨイを退団し、
振付師に専念する。そして日本とロシア
の懸け橋になろうと意識している。

慈愛の人・良寛(77) 杉本武之

良寛研究家たち(その3) 2回にわたって良寛の全集を編集した研究家たちを紹介してきました。今回は、良寛を敬愛し、良寛の素晴らしさを世に知らせるために努力した人々を紹介したいと思います。



佐藤耐雪

「出雲崎は海にせまる急峻な丘陵の麓に細長く連なっている町である。妻入りの街並みが北国街道沿いに続くそのほば中央に、安田鞆彦設計による良寛堂の建ちあがりました。50年の年月をかけて書き上げたライフ・ワークの『出雲崎編年史』は、昭和25年、75歳の時に全巻が完成しましたが、生前には出版が実現せず、没後に刊行されました。原稿用紙六千枚に及ぶ

良寛に關連した聖地とも言うべき場所が4つあります。生家跡に建てられた良寛堂と、すぐ近くの丘に建設された良寛記念館とがある生誕の地・出雲崎。22歳の時から国仙和尚の下で厳しい修行に明け暮れた倉敷市玉島の円通寺。帰郷して長い間住居した五合庵と、その麓の乙子神社草庵とがある国上山。晩年を過ごした木村家と、良寛の墓が建っている隆泉寺とがある終焉の地島崎。良寛に対する興味が芽

「良寛記念館は、昭和40年(1965)に完成した良寛の遺品・遺墨、安田鞆彦ら著名作家の良寛敬慕作品を展示する記念館である。良寛堂を建立した佐藤吉太郎(耐雪)の発起により、谷口吉郎の設計で建てられた。良寛研究家でもあった耐雪が、自身蒐集した愛蔵していた良寛遺墨や関係資料をすべて出雲崎町に寄贈したことが、記念館建設のきっかけとなった。良寛が江戸の維繫尼に宛てた『天寒自愛』の手紙や『般若心経』写経、弟の由之に宛てた戒めの書状や『中元の歌』、愛用の硯や良寛臨終の床布団の切れ端などを収蔵している、折々見ることがで

「良寛、真心尼対面図」が展示されています。まことに高貴な良寛の姿です。私たち日本人が思い浮かべる清浄無垢な禅僧良寛というイメージは、彼のこれらの作品によって強く影響されています。東京国立博物館所蔵の「五合庵の香も名作」として知られています。



杉本武之プロフィール

将棋の好きな人なら、かなり前に活躍した原田泰夫という、日本将棋連盟会長を務めたこともある棋士を知っている方もいるかもしれません。彼は原田勘平の4男でした。今から30年ほど前「良寛と私」というアンケートに、原田8段は次のように答えました。

この指とまれ (188) 氏原朝信

「新しい新聞二世」と学級通信文集「スクラム」(7) みんなの家から持ってきた本で、みんなが決めてたところ『みんなの文庫』という名になりました。

子どもにとっていちばん大切なものは遊びじゃないでしょうか。この遊びを子どもから取り上げてしまったら、目の前にいる子どもたちに残るでしょう。遊ばない子どもたちは、遊び場(広場)といつたものがなく、遊べなくなっています。この遊ばないこと

子どもにとっていちばん大切なものは遊びじゃないでしょうか。この遊びを子どもから取り上げてしまったら、目の前にいる子どもたちに残るでしょう。遊ばない子どもたちは、遊び場(広場)といつたものがなく、遊べなくなっています。この遊ばないこと

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING! 秋真つ盛り きのことたっぷりそば. Includes ingredients and cooking instructions.

各種行事案内 (Events Guide) listing various community events such as sports meets, exhibitions, and performances.

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

—自分ドラマつくろう— (8) 岡田 清治

日本のゆくえ
「素直でないといいますが、何を考えているのかわかりませ

前島は先ほどまでは打って変わって深刻な顔をのぞかせた。ママは二人のカウンターにメバルの煮付けを皿に盛りつけて置いた。

「うまそうだな」
前島はすぐに箸をつけた。
「善さん、これいけますよ」

「いただきます」
真三は前島の掛け声で煮付けを口に運んだ。
二人はしばらく食べることに集中するためか、寡黙になった。ママはBG機器にスイッチを入れた。沖繩民謡『安里屋ユンタ』が流れた。

意外と、店の雰囲気は合う。
前島は民謡が終わるのを待って、再び話を続けた。
「私の女房が下の子のPTAの役員をされていて、進学や部活、さらに就職や親の介護の話をしてきて家に帰っては話すのです」

「お子さんは中学生ですか」
「そうです。下の子が中学三年で、上の子はまさに善さんの姪御さんと同じ大学三年です」

「そうですか」
「女房が聞いてきた話を紹介しますと…」
前島はまず、大学三年男、高校二年女、中学三年男の子どもを持つ主婦の話を取り上げた。

「大学生はもうすぐ就職活動が始まるのに、いまだにどんな仕事をしたかが決まらず、成り行きで決めていきそう。親としては、やはり安定した会社、大企業をと思ってしまい、口うるさくなります。でも、やはり一生、働いていく仕事なので、自分が好きなことを仕事にしてほしいとも思う」

「これが普通の家庭の親の気持ちだと思いますね」
「そうですね。仕事を深く考えないというか、考えられないものです。親とか親類の人の職業を垣間見る程度ですから、自分に合っている仕事を広く見られないのも事実ですね」

「大学の学部で一定の方向性が出ていますが、それも思うようにいかないのが現実社会です。こういう学生は与えられた職業に一生懸命に取り組みば道は自ずから拓けていくと思えますね」

「髪を茶髪に染めて、ヤンキー族やブタウタロウになって親の脛をかじるパラサイトシングルになると、経済的にも世間的にも困るんです」
「高校の娘は、まだ二年生だと思ひ、のんびりしている。それでいて大学か短大へ行きたいと言う。理由は楽しそうだからと言うだけで、上の学校へ行つて、何かを身につけてくれるなら賛成するけど、理由がいま一つわからない。何になりたいたい聞いても、まだわからないと言うだけだから、どう接したらいいのかわかりません」

「大学や短大を見ていると、楽しそうに見えるのも事実ですね。親から授業料や下宿代を出してもらって、適当にアルバイトをしながらキャンパスライフ楽しむ気分はわかりますね」

「一見、無駄なようにも友人を得ることも、恩師との出会いも期待できます。またアルバイトを通じて社会勉強することもあるでしょう」

「ただ、クラブやバーで働いている女の子が、ファッションのように大学に行っているケースも見受けられます。主客転倒も

なはだしいわけで、学問はファッションではないのです。苦学生だから仕方がなく、そうする場合なら理解はできますが、私ももう少し話してみたいです」

「私も水商売をしていて時々、何のために大学へ行くのかと疑問に思うこともあります」
「ママももう少し話してみたいです」

「中学三年男の子は高校受験性、この子だけはやりたいことが、大まかな段階がある。スポーツに力を入れている高校へ」



アルゼンチン・ブエノスアイレスの牧場(著者撮影)

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。テーマは「就職」「日本のゆくえ」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX: 0569-34-7971
メール: takamisus@akashinbun.net

プロフィール
著者: 岡田清治(おかだせいじ)
一九四二年生まれ ジャーナリスト
(編集プロダクション・NET 108代表) 著書に『夢 軌跡と野望』百年とこれから『あなたは社員の全能力を引き出せますか!』『リヨンで見た虹』など多数

行き、将来はスポーツ関係の仕事を望んでいる。
「スポーツはいいですね」
「私もある社会人サッカーチームを運営するNPOの顧問をやっています。サッカーが好きなのは一生、それを続けたいのです。食べるために昼間は働き、退社後、仲間と集まって練習します。シーズンは月二回ほどのリーグ戦があるほか、地域の子どもたちにサッカーを教えています」

「人生はサッカーなんですか」
「こういう子どもはある意味、幸せですが、それでも一番の悩みは生活力です。将来、プロの選手を夢見ても、挫折する人がほとんどです。相当な選手でもアフターサッカーライフはかなり深刻です」

「スポーツでも芸術、あるいは技術でも一生継続することは至難なことですね」
「この方は三人の子どもを抱えて頭が痛いようです」

「上の子を大学へ行かせた分、下の子にタメとは言えない。今の就職難の時期に、何もやることを決めなくて就職先は決まるのだろうか。何社受けても、不合格もあると聞くと、高望みしなくとも、思ったりするほど、子も親も悩みます」

「こうなつたのも自業自得と言ってしまうのは、何の意味もないわけですね。私は自分がそうだったように勉強もせず、成績も悪いまま社会に出ました。それでも中小規模のファミレスに入りましたが、今日のように急成長するかどうか、わかりませんでした。今日のように急成長するかどうか、わかりませんでした。今日のように急成長するかどうか、わかりませんでした」

「ただ、みんなが就職できれば、社会は安定するのですが…」
「そうですね。中高年になっての再就職の道はきついです」
「それでいいですね」

「ママが店の戸棚から古い日記帳のようなものを取り出してきました」
「私の父は小さな梅林で梅づくりをしていましたが、生活費は株式の運用益がほとんどです。なまじっか借家や株式を所有していたので梅づくりには熱が入らず、一日中、ラジオにかじりついて株式相場やニュースに耳を傾けていました。このノートに書かれた所有銘柄を見ますと、随分、手広くやっていたことがわかります。父の死後、大半は長男に譲渡しています」

「そうだったのですか。ママの家は資産家だったんだね」
「このノートに自分の生き方を示すような引用文がたどたどしい字で綴られています」
「ほお、見せてください」

「川端に牛と馬とがつかわれて、牛と馬が風に吹かるる青春は失策、壮年は苦闘、老年は悔恨」
「子どもが女を最高目的と主張することはある広告的スローガンの意味がある」

「滑らすなら舌より足を」
「口は災いのもと」
「言は剣より人を刺す」
「骨なき舌が骨を砕く」
「足を滑らせても口を滑らすな」
「口の中は自分でも口の外は他人」
「口を閉じて目を開けよ」

(ボ・ヴォワール、デイズレリー、二茶)

「すごいですね」
「ママもこういう父親のもとで育てられたから、しつかりされているのですね」
「全然、私なんか…」
「信用とは、そうして醸成されるのかも知れませんが」
「ところで、前島さん、他にも奥さんから聞かれていますか」

「そうですね。長男が大学四年生で、就職を身近に感じられている主婦の方も同じような内容です」
「長男は大学四年で就活中ですが、やりたいことがあって、授業には行っていないので、今だに方向性はゼロです。目標があり、やりたいことができる企業に入つたというのであれば、本人も力を発揮し、がんばっていきけるので中小企業でもいいと思います。でも親としてはやはり世間に知られた企業で、収入の安定を求めますので、ついつい口を出してしまいます。学生の就職意識より親の意識改革が必要だと聞きますが、耳が痛いのです」

「大方の母親の気持ちでしょうね。大企業へ安定という図式です。それもテレビCMで知っている企業が母親の抱く大企業のようなのです」
「行政も大学も父兄に向けて就職ガイダンスをすべきです」

「先ほどの日記帳の最後に、天命に生きる」とありますが、そういうことでしょうか」
「それは現実的に就活しようとする子どもを抱える親には理解してほしいと思つても無理でしょうね」
「現実的な対応を求めておられるのでしょうか」

「前島さん、他にも何か」
「はい。就職の意味を知つてほしい主婦の方ですが…」
「我が家の長女は四大卒で教員免許を取り、小学校の先生になつたのに、毎日「はあ、はあ、はあ」と、溜息ばかり。筋トレするようにいっぱい仕事を抱えて午前様に帰宅し、その上、土日も学校に行き、家のことどころか、自分のこともできない。年頃の女の子にこちらが溜息です」

「そんなに大変なら、早く結婚退職したら?と言つても、彼氏をつくる時間があると思う?と聞き返されました。男も女も何がやりたいか、何を求めて生きていくのか興味があります」
「そこで就職の基準ラインって、どうやって引くの?かも、今を生きてる若者に聞いてみたいですね。私自身が就職に失敗して、フリーターになり、さっさと結婚してやりたいことを、ずーっと続けてきた。世の中にバカバカ流され満足と幸せを感じている母親なので、就職って何?と強く思っています」

「なるほどね。就職しても悩みは尽きないものですね」
「そうですね。人生は苦と楽の繰り返しです。苦は若い時に買つてもむしろという教えがあります。いつまでも苦も楽も続かない。苦があればいつか、楽が必ず訪れると言えます」

「これには人生の大半を済ましてきた我々三人は納得です」
「他に高校の先生の話も聞いています」
「焼酎を作つてから聞きましょう」

ママは黒霧島の一升瓶から二人のグラスに芋焼酎を四分の目安で注ぎ、そしてお湯をグラス一杯まで足した。

(つづく)

ほりお教授の紀行文学シリーズ
ロマンチック沖繩旅物語(連載第七回)

ヤマネさま、早く!

堀尾 幸平

ぼくは、沖縄本島の取材活動を終えた後、二三日の予定で沖繩離島のプライベートルームを気ままに楽しみたいと思っていた。その日、那覇港でこれから西表島のイリオモテヤマネコに会いに行くという中学生吉田海里と偶然出合って、それから少年と行動を共にすることになった。

「にぎやかな、さわやかな、いい感じの鳴き声だね」
「西表島では、ヤマダンと呼ばれて親しまれている鳥です」
それから、少年は口笛で、鳴き声のまねをした。

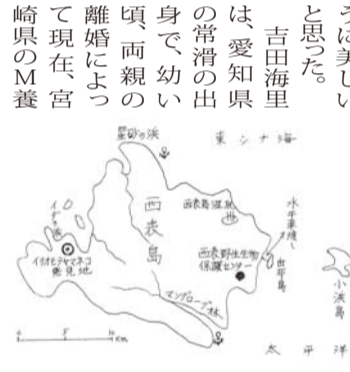
「どうして?」
「だって、大人が仕事もしないで、こうして何日も旅行できる身分なんて、うらやましいですよ。おじさん、なに屋さん?何の仕事をしてるんですか?」
「本業は大学の教授とも言いかねて黙っている。少年はぼくの顔をじろじろとながめながら言った。」

「いや、何でも食べますよ。ネズミ、コウモリ、昆虫(へび)、水鳥から魚まで。ヤマネコは、海や陸や森の中のもの何でも食べます。食べられるものは何でも獲物としてとらんで、獲物が見つからない時は、砂浜で貝まで掘って食べるんです」
海里の声は次第に熱っぽく大きくなっていった。

「海里は、自分自身に言い聞かせるように、はつきりと言った。
「海里くん、今夜はもうダメじゃないか」
「センセイあせつちやダメですよ。何ごとも根気よく、じょくり待つことが大切であります」
海里は、落ちついて、笑っている。美にしっかりとした中学生である。

「先生が言うように、今夜はやはり、ヤマネコさまは寝坊をしているかも知れませんが、帰りますよ」
「ぼくたちはひどく残念な思いで月夜の砂浜をゆくりと歩いて帰った。」
と、その途中であつた海里が叫んだ。
波打ち際に大きなへびが死んでいた。海里は、しゃがんでへびの死体を手をつかんだ。頭部が何かに食いちぎられたらしく、実際は「メートルくらい」の大きさのへびかと思われた。

「ヤマネコさま、お願いします。お頼みます」
「ヤマネコさま、お願いします。お頼みます」
「ヤマネコさま、お願いします。お頼みます」
相変わらずの強い風雨で傘などさせる状況はない。全身ずぶ濡れで、先ほどのへびの海岸を巨ざした。
と、あの場所、ぼくは見たのである。
けふる雨の波打ち際に、魚を食べているヤマネコらしい姿があった!



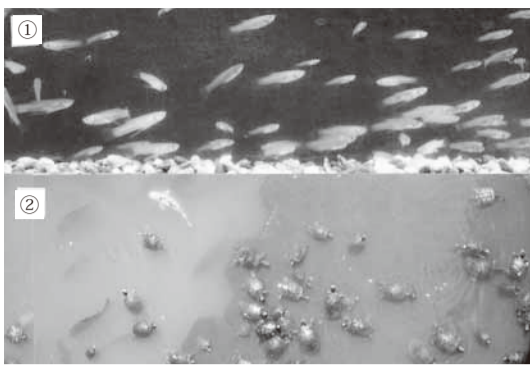
「筆者紹介」
ほりお・こうへい。作家、「日本学術出版」代表。名古屋大学研究室修了。元愛知淑徳大学文学部教授。著書多数。現住所、名古屋市南区元桜田町四一五五。

知多の動植物雑記(二七八)

原 穰

十一月に入り、立冬も間近おー寒さむーの毎日になるのはイヤだけど、振り返れば春から秋にかけての川の生物調査も無事終了。

私の特集である淡水魚類図鑑には掲載されていないので、暫く考えていたが、ふと思いついた「ちたろまん」を開けば、七年前の第一九七号に明記されていて感動！



写真①は半島北端部の三面張りの川で、川中は七、八センチ。流れる水の深さは十センチほど。水は澄んでいて、けれど、真夏の八月十三日、長靴の足もボカボカ。こんなところ、住めないよなと思いつつながら...

上流へ向かえば、川の隅にコンクリートがはがれてできた三十センチの水溜りに小さな魚が泳ぐ。「何これ？」とすくみ取り、器に入れて確認すればカダヤシの群れ。さすが汚濁にも高塩分にも強く、水温二十度以上ならいつでも産卵できるというコワイ魚。

体長は二、三センチながら、メダカを駆逐してしまう悪者である。そんなことから、特定外来生物になっていて、他への放流や飼育も禁止になっている魚である。

写真②は半島中央部東側の川。池の出口に近い場所での川の流れば穏やか。コイカフナはつきりしないけれど、七、八センチの稚魚が群れ泳いでいる。そして五、六センチ離れた場所にはアカミミガメがうようよ。写真に写っている数でさえ実に四十七匹。そして四、五センチのコイと色鮮やかなニシキゴイまで泳いでいる。

あ、メダカやドジョウの住む川もどつて来て！

こんな川もあるんです

まさかな形へ変化し、水や砂などで角や面は摩擦・摩耗していく。40、50年の歴史があれば、まともな手がけるオブジェに余計なあしらいはいらない。

まともな作品には、独自の遊び心とアートがある。ある日展開係者は、「まともな作品は自由で面白い。あなたの感性でアートになる。是非、この作品を作り続けたい」と話した。

赤井 伸彦

遺跡

町の考古学

武豊の収蔵品展 (百六十九) 奥川 弘成



復元された弥生時代の壺

武豊町歴史民俗資料館で現在、「武豊の古代・中世」と題して収蔵品展が開催されています。武豊町の古代は、原始時代の石鏃散布地を最古としています。最も古い土器は、

ウスガイト遺跡の住居跡で出土した弥生時代中期の壺などのかけらです。このかけらなどには、口から胴体底までの大型の形が分かる破片がありました。

あわせ、東海市平洲記念館館長の立杉彰氏にお願いをして、弥生時代中期の土器の中から、高さ33センチほどに推定される獅子懸式土器とよばれる壺を復元していただきます。

鎌1、紡錘車1です。首を飾る玉類は、切子玉2、算盤玉2、丸玉1、子玉4、環玉3、勾玉1の13点あります。

鉄製品は、判明した数は82点あり、内訳は、直刀3、鏢4、管状金具1、鉄鍬43以上、刀子4以上、帯金具4、馬具金具14、やりかん3、

このほかに土製壺車2点など、これまでに知多半島で確認できた古墳の副葬品からみて量や質も類を見ないものでした。この副葬品をもちいた豊かさの背景に、伊勢湾、三河湾の各所にある塩作りがあります。今回展示では、町内の古代の塩つくりにかかわった古墳時代や奈良平安時代土器が

古代の塩つくりが衰退すると、中世初期に茶碗や皿壺を作った焼き物の生産が始まります。それは、武豊町にある南小松谷古窯、南蛇ヶ谷古窯、北小松谷古窯の出土品をはじめとして、いま

今回は展示できなかった集落跡のウスガイト遺跡を含め、知多半島の古代から中世の指標となる重要な遺跡がこの武豊町には、多くあります。

若竹俳壇

園児皆引き上げし庭枯葉舞う 秋風に二の足ふらぬ外出着 被服手の仮設住宅台風風 秋葉手の触れぬ程傍に寄り 後れ馳せ老の楽しみ大根餅 こんの里もこもこも曼珠沙華 秋晴に綻ぶ笑顔北海道 初秋刀魚酒の肴の一番手 木屋や近頃猫ニヤン寝てばかり 大漁旗なびく港や鰯雲 散水のホース飛行機雲に向け オレ流なおとほけの弁秋の風 走り着た車より早く赤い羽根 登り窓巡れば樞実をこぼす 予報士の誰より早く赤い羽根 おだやかな夕日返して新松子 秋鳥をすばいり包んで台風裡 秋鳥をすばいり包んで台風裡 秋鳥をすばいり包んで台風裡

幾世八千代 岩田つ子 山田美耶子 村井みさを 清水三吉 浦崎ひとみ 河瀬四子 杉田悦子 林京子 藤江文恵 山下悠児 加藤浩美 加藤久子 谷川と志江 片岡光子 村田政子 塚本千鶴 杉江京子 関里美 伊山庄 伊奈ユミ子 竹内ユミ子 渡辺 波子 都築 信子 竹内 範子 中村 洋子

毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

◎若竹俳壇 毎月十日までに集書で

わが家のニューフェイス



林 光城 (1歳2ヶ月) 武豊町字東長宗

写真・文	い	に	っ	た	こ	マ	お	ま											
	か	行	て	よ	の	マ	兄	し											
	け	き	、	。	問	と	ち	た											
	っ	た	み	早	、	父	や	。											
	こ	い	な	く	お	ち	ん	最											
	す	な	な	た	家	や	の	近											
	る	。	と	く	の	ん	の												
	の	愛	い	さん	障	を	ケ	は											
	が	大	る	ん	子	困	ン	、											
	楽	の	ん	歩	も	ら	カ	イ											
林	し	り	な	け	破	せ	も	タ											
	み	ぼ	所	る	っ	て	増	ズ											
雪	だ	ん	に	様	ち	い	え	ラ											
乃	な	と	遊	に	や	る	て	、											
	。	追	び	な	っ	よ	。												



愛と My Family



野崎 蓮生 (2歳) 葵心 (4歳) 常滑市阿野町

写真・文	ん	に	ケ	リ	葵	な	も	好											
	で	遊	ン	、	バ	り	ち	き											
	す	ん	カ	僕	ち	き	や	を											
	っ	で	も	の	や	っ	を	持											
	と	く	す	お	ん	て	い	っ											
	仲	れ	け	世	は	い	ま	て											
	良	て	と	話	、	す	。	変											
野	し	大	、	も	服	を	着	身											
	で	好	い	っ	を	着	せ	ポ											
	い	き	な	お	ぱ	れ	く	ー											
加	よ	な	お	姉	い	ま	す	。											
奈	う	お	姉	ち	一	緒	。												
子	ね	。	。	。	。	。	。												



10月中、常滑市内で高齢者の重大交通事故が連続発生

ドライバーの皆さん

- 油断禁物!! 駐車場の出入り、駐車場内
- 駐車場の出入りは歩道の手前で一時停止と安全確認
- 駐車場内では歩行者の動静に注意

歩行者の皆さん

- 明るい服装、反射材を身につけましょう



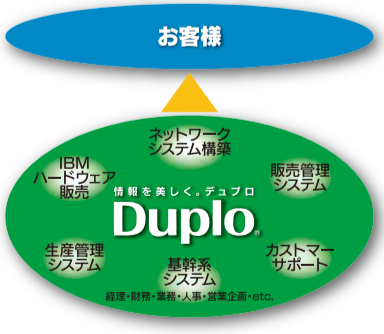
常滑警察署

デュプロ販売株式会社 (名古屋)

デュプロは
コンピュータネットワークを活用した、
お客様の新しいビジネススタイル
"e-BUSINESS"を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ

Duplo
from print to documents



デュプロ販売株式会社
〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号 TEL(052)321-2020

恒例 “春物ちりめん展示会”
11月10日(木)～15日(火)お気軽にこそ来店下さいませ

やわらかい春の陽射しの中で、心地よさを身にまとう。

どんなシーンでも女性らしさを忘れないアーバン・フェミニンな春スタイル。
YUMEMIDO
Chirimen Collection 2012 Spring

空リ 奈津子 常滑市鯉江本町5丁目125
名鉄常滑駅ビル セラ2F
☎(0569)34-8823